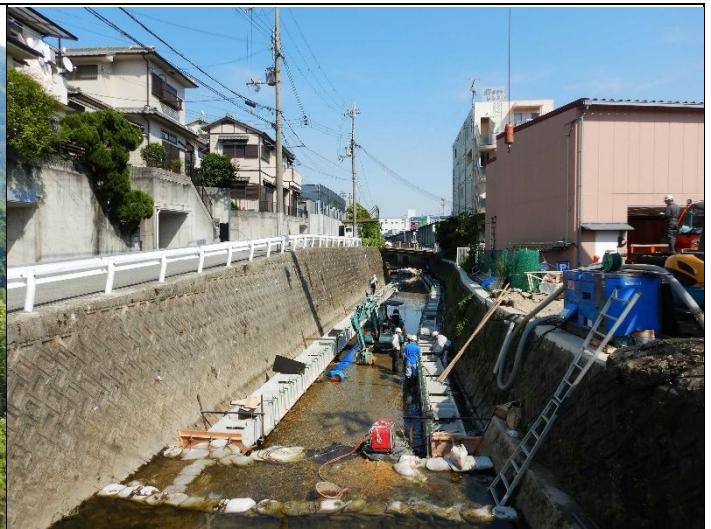




青華接続道から武庫川俯瞰 2022年5月18日



大堀川改修その6 2022年5月18日



百間樋高水敷ブロック被覆 2022年5月18日



稲葉壮工区工事終盤 2022年5月18日



43号線橋脚補強工事終盤 2022年5月19日



南武橋左岸接続工事中 2022年5月19日

城山トンネル工事は順調に進みトンネル照明設備工事、出入口前後の舗装工事が始まった。青葉台住宅と華の峰住宅接続道が開通し漸く2方向避難ができる普通の町になった。接続道からの見晴らしはよく、これから大きく景観を変えるであろう西宝橋付近の絶好定点観察ポイントになる。176号線抜け道利用はなく人車の往来は稀。

大堀川改修工事が行われていたが、説明看板がフェンスの内側で確と読み込めないものの、掘り込み河川なのに相当長尺の矢板打ち込まれていることから想像すると課題の大きい難工事区間だったことが想像できる。

幾度かの洪水で荒れ放題になっていた百間樋付近の高水敷ブロック被覆工事が進み災害以前の姿に戻されるようだが、本格的な堆砂撤去が行われていないことから、河床と高水敷の落差が少ないことから、チョットした出水でも高水敷まで上がることは容易に想像でき、地面に並べられた程度のブロック被覆材剥がされるものと思う。

下流掘り込み区間の河川内の工事は殆ど終わり、建設機械の姿もなくなり静かになり、工事前と変わらない風景を取り戻したかに見えるが、よく見ると低水護岸改修工事区間の護岸近くは計画河床高さまで掘られ深くなっている。

南武橋上流河床掘削区域は大潮間干潮時の水面下2mで、釣り人が知らず立ち込むと危ない。事故無き事を願う。